

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13. NEWS

86

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

* 発行責任者：会長・染井佳夫(04-2936-3562)、幹事・齋藤祐司(090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当

発行：2016 7. 1.

本庄教会における和助の布教・伝道活動と廃娯運動への契機について染井佳夫氏が報告!

「喜寿の安登」に関しては、本庄教会に仙台から着任した石川和助牧師の伝道活動について染井佳夫氏が、「本庄教会100周年記念誌」「本庄町誌」「本庄市史」「日露戦争期の漫画(『近代漫画Ⅳ』)」等の資料を用いて報告をされました。教勢拡大・信仰確立に「上武野三州」「関八州」等広範囲から信徒の集まる親睦会が行われていたこと(例:関八州大親睦会は鎌倉で大晦日から元旦にかけて開催)、廃娯運動に対する町長(後に県議)の意識の遅れ等興味深い報告がなされました。



△和助在任時の教会堂の前で(撮影は和助転出後)
/「本庄教会100周年記念誌」より



石川組博多出張所,古賀工場環境の解明進む!

-日比保紀氏が3通の手紙を読み、詳細な報告-

第84回例会における日比報告は、石川組博多出張所から本店の民三宛ての手紙、藤内村長安武源太郎氏による民三宛の手紙についてのものでした。昭和5、6年における石川組製糸と地元村民との関係や筑前石川組の資金関係が見えてくる報告でした。
◁石川隆蔵(左)と石川東洋(「故石川隆蔵米欧旅日記」大正15年8月刊/石川隆蔵記・石川東洋編印刷：入間郡豊岡町黒須132 井ヶ田西之助/現明治堂印刷のご先祖)

次回(第85回)例会のお知らせ

1. 期日 2016年 7月29日(金) 午後6:30
2. 会場 石川洋行母屋1F
3. 内容 「喜寿の安登」より(p.58第45節から) 報告者：石川 嘉彦氏

【シルクロード・ネットワーク・新庄フォーラム2016】から【本庄フォーラム2016】へ
・6月25・26日(土・日)に山形県新庄市で行われた上記の会で「わがまちの絹文化遺産・旧石川組製糸西洋館と石川組製糸」について染井佳夫氏が短時間の報告を行いました。9月には埼玉県本庄市でも、RAC(「NPO 法人 街・建築・文化再生集団」)主催のフォーラムが開催されます。

来年秋に計画されている「石川組製糸展(仮称)」の準備が入間市博物館で進行中です!

来年秋の実施を計画(正式決定は市議会による予算承認を待ちます)されている「石川組製糸展(仮称)」の構想作成、史料の所在確認、史料整理等の準備が非公式に始まりました。新年度を待ってのスタートでは到底間に合わないためです。また、鑑蔵史料の中にも石川組製糸関係で未整理のものが300点を超える規模で存在することがわかりました。第84回例会では、同展の準備作業に会としても協力していくことが話し合われました。 石川組製糸製生糸の輸出ラベル▶



石川組製糸所の輸出用シルクラベル

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

87

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

NEWS

号

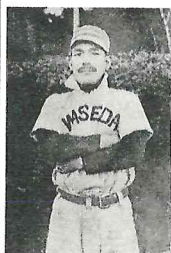
* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2016 8. 4.

小川町開教伝道の日々から神経衰弱に、青山学院では 崎山比佐衛、 橋戸信等様々な人々と交流その後小樽他道南で開拓伝道の日々!

-石川嘉彦氏が報告-

本庄教会勤務の傍ら石川和助牧師は小川町まで片道八里の道を古自転車で行きながら伝道活動にあたったが、神経衰弱に罹ってしまった。心配した本多庸一のはからいで青山学院の倫理教師兼寄宿舎舎監となり、寄宿舎改革にあたったが、その中で後



に渋沢栄一の援助を受けてブラジル移民に向けた学校を設立する崎山比佐衛他その後も交際する人々と会うこととなった。また、寄宿生の中で「石川を殴ってやる」と息巻いていた者の中に、後年早稲田大学や都市対抗野球で活躍した橋戸信がいたことも注目されるエピソードだ。1900年(明治33)からは小樽・岩内・増毛・余市等道南地方の開拓伝道に携わっている。/「喜寿の安登」第45~48節
◀早大野球部時代の橋戸信



△現在の小樽教会

石川組製系関係史料(石川忠雄家文書)解明に向けて取り組むことに!

来年秋の「石川組製系」展(計画中)にむけて、会としてもその応援をしたいということで次回例会から約360点程ある石川忠雄家文書を入間市博物館を会場として読み進めることになりました。石川忠雄氏は石川組製系の創業者・石川幾太郎の次女・きよ、とその夫中島万吉の孫にあたります。

次回(第86回)例会のお知らせ

▼日曜日です

▼会場がいつもと違います

1. 期日 2016年 8月28日(日) 午後1:30
2. 会場 入間市博物館会議室
3. 内容 ・石川忠雄家文書(第五工場=扇町屋)の経営関係史料他の読みと分類等(「石川家の人々」が役に立つと思われます。コピーで構いませんのでできるだけご持参ください。)

【会員による講演会等】・9月12日(月) 13時30分から16時 狭山市民大学ふるさと学講座
講演「石川組製系と石川家の人々」(見学を含む) 会場：旧石川組製系西洋館 講師：染井佳夫氏
・2014年度に入間市立図書館の主催で10回にわたって連続開催された講座(『シネマ』を読む、講師は当会会員の忍足ユミ氏)のまとめとして『「シネマ」を読み解く-歌人石川信雄の青春-』が発行されました。戦前の日本歌壇を革新した歌人石川信雄(幾太郎の末妹りよの長男)のみずみずしい感性を示す121首の短歌を忍足氏を指導者としてそれぞれの思いを持つ参加者が集団的に解釈をしたものです。一読の価値あり。。

今年も生涯学習フェス(12月4日)に参加します!9月24・25日には本庄市でフォーラムも!

12月4日(日)に実施予定の入間市生涯学習フェスティバルに今年も参加することが7月例会で承認されました。前日3日(土)の準備も含め皆様のご協力をお願いします。展示内容は未定です。

また、9月24・25日(土・日)には埼玉県本庄市でも、RAC(「NPO 法人 街・建築・文化再生集団」)主催のフォーラムが開催されます。昨年は飯能市で開催され西洋館も見学コースとなりました。

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

88

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

NEWS

号

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2016 9. 4.

ALIT 所蔵石川忠雄家文書読解の取り組みはじまる！-大正、昭和戦前～戦後期の360点-



本紙前号でも予告したとおり、今次例会は来年秋の「石川組製糸」展(計画中)にむけて、約360点ある石川忠雄家文書を入間市博物館を会場として読み進めました。石川忠雄氏は石川組製糸の創業者・石川幾太郎の曾孫にあたりますが、本会会員(前会長)青木和子氏の従兄弟でもあります。

例会で読んだ約70点の文書の中には、忠雄氏の父金次郎氏が当時経営を任されていた扇

町屋工場に設置された蚕糸講習所で用いられたテキストや答案綴り等も含まれています。特に大正12年の答案には氏名と年齢が記載されており、特に普通科では「14歳」の記述が目立ちます。次回以降の例会でも同文書を博物館で読み進めることが決まりました。

石川組製糸工場の古材を活用？

一旧(2代前)の藤沢公民館、保育所の建物に—博物館所蔵の旧(2代前)の藤沢公民館・保育所の建物が、石川組製糸工場の古材を再利用して建てられたとの以下の証言が藤沢在住の山口敏夫さんからありました。

「この建物は、石川組製糸から移築した(ママ)建物です。子どもだった私たちが、柱を一本一本不老川で洗ったんですよ。」

比較的近い町屋工場なのかどうか等興味が尽きません。



△旧(2代前)の藤沢公民館(昭和40年撮影 ALIT 蔵)

【会員による講演会等】・9月12日(月)13時30分から16時 狭山市民大学ふるさと学講座
講演「石川組製糸と石川家の人々」(見学を含む) 会場：旧石川組製糸西洋館 講師：染井佳夫氏
今年も生涯学習フェス(12月4日)に参加します!

12月4日(日)に実施予定の入間市生涯学習フェスティバルに今年も参加することが7月例会で承認されました。前日3日(土)の準備も含め皆様のご協力をお願いします。展示内容は未定です。

次回(第87回)例会のお知らせ ▼祝日です

▼会場が石川洋行ではありません

1. 期日 2016年 9月19日(月) 午後1:30
2. 会場 入間市博物館会議室
3. 内容 ・石川忠雄家文書(第五工場=扇町屋)の経営関係史料他の読みと分類等(「石川家の人々」が役に立つと思われます。コピーで構いませんのでできるだけご持参ください。鉛筆を持参してください)

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

NEWS

89

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

* 発行責任者: 会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行: 2016 9.29.

例会における「石川忠雄家文書」の読解進む!

9月19日に入間市博物館で行われた第87回の例会は86回に引き続き扇町屋工場の経営に関わる「石川忠雄家文書」の読解を中心に進められました。前回と合わせて約80点の史料の読解が行われ、同工場に設置されていた「蚕糸講習所」のテキストや問題、解答、成績表等興味深い史料や、所沢織物青年会の「会報」等貴重な史料の存在が確認されました。

作業は2人一組で行われ、各々の組が読んだ史料中のいくつかずつについて、最後に報告をしいました。昭和18年の「職



△読解を進める吉田茂雄、山戸壽子氏(手前)

左手奥は三浦久美子氏

工名簿)には、「タレット工」「ボール盤工」等として女性の名前があり、戦時下の生産が女性によって支えられていたことがわかります。また、そうした“本筋の史料”以外にも「ジョンソン基地貸家組合設立趣意書」のような戦後の入間市を知る貴重な史料が発見されました。同組合の発起人には石川源一郎氏や石川金次郎氏も名を連ねています。

<「所沢織物青年会会報/創刊号」と昭和23年発行の県工業倶楽部「工場便覧」



次回(第88回)例会のお知らせ

1. 期日 2016年10月9日(日) 午後1:30
2. 会場 入間市博物館 ALIT 会議室
3. 内容 ・「石川忠雄家文書」の読解(続き) これまで読んだ文書のリスト(A3判3頁)を差し上げます

【Amigo の関東シルクロードバスツアー from 入間 to 横浜】(正式な事業名ではありません)で紹介した写真

9月23日に入間市文化創造アトリエ Amigo 主催の上記バスツアーが行われ、染井氏が車中で「石川組製糸と横浜生糸貿易」のレクチュアと右の写真等を紹介しました。右端写真の船は氷川丸です。



【本庄フォーラム2016】で「幾太郎と和助」を文書発表

NPO 法人 街・建築・文化再生集団 R・A・C 主催の研究集会在埼玉県本庄市で9月24,25日に開催されました。同集会のプログラムに A4 判2ページで「幾太郎と和助-石川組製糸の企業活動とキリスト教-」を掲載して2人を紹介しています。特に和助氏は明治 29 年から本庄教会の牧師を務めており、埼玉の廃娼運動を主導的に担うようになったのも、その時期と考えられます。「喜寿の安登」には、公娼増設派の元本庄町長(後に県議)が県の廃娼決議を“こそこそ”欠席する様が描かれています。

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

90

NEWS

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

＊発行責任者：会長・染井佳夫（04-2936-3562）、幹事・齋藤祐司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担当

発行：2016 10.15.

例会で3回目の「石川忠雄家文書」の読解！

10月9日に入間市博物館で行われた第88回の例会は3回目の「石川忠雄家文書」の読解でした。前回・前々回と合わせて約160点の史料の読解が終了しました。今回読んだ史料中には戦時体制下の生産力増強や「大政翼賛」・「産業報国」への動きを示すものも多く、終戦直前の昭和20年6、7月には「本土決戦」を想定してか、「義勇隊調査票」も見られました。読解を進める、左から石川洋子、本多秀代、日比保紀、藤井のり子、玉井康夫の各氏(写真は87回例会時のもの) ▶



明治29年から4年間石川和助が牧師を務めた本庄教会をお訪ねしましたー RAC 本庄フォーラムー



前号でお知らせした RAC 主催の本庄フォーラムに参加した際、本庄教会に飯野敏明牧師をお訪ねしました。本庄教会は和助が在職していた頃からは、所在地(住所)も建物も新しくなっており、当時から見ると3代目の教会堂となります。関東大震災時に本庄町(当時)ではデマに踊らされた自警団員等により多くの朝鮮人△木の香も新しい礼拝堂で飯野敏明牧師が虐殺されたことが知られていますが、飯野牧師からは、同教会信徒の中に、逃れてきた一部の朝鮮人を匿った人がいたという貴重なお話をお聞きする事ができました。教会墓地にある、その信者の方の墓石も写真に収めることができました。後日、飯野牧師様宛に石川和助および阿部ハツ関連の資料をお送りしました。(染井)



△石川和助が牧師を務めた本庄教会の現在

次回(第89回)例会のお知らせ

1. 期日 2016年11月11日(金)午後1:30
2. 会場 入間市博物館 ALIT 会議室
3. 内容 ・「石川忠雄家文書」の読解(続き) 博物館から工藤宏氏が例会開始時に参加予定です

【Amigo の 横浜バスツアー from 入間】で見た生糸貿易の名残を感じさせる写真を照会します

9月23日に行われた上記バスツアーで撮影した「横浜生糸貿易」の名残を感じさせる写真を紹介します。

左は横浜第二合同庁舎(旧生糸検査所)に遺る蛾を図案化したマーク。右は開港記念会館(1917年開館)2階の豪壮なステンドグラスです。



「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

91

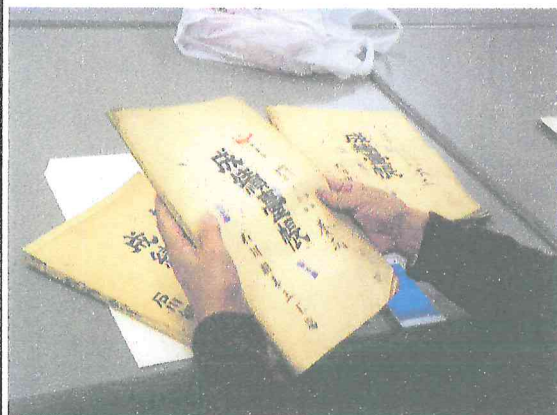
入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

NEWS

号

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2016 11.29.



例会で4回目の「石川忠雄家文書」の読解!

11月11日に入間市博物館で行われた第89回の例会は4回目の「石川忠雄家文書」の読解でした。未整理史料の読解に入る前に博物館の工藤宏氏から資料の扱い方等についてレクチュアを受けました。今回読んだ史料中には第五工場に設置された蚕糸講習所受講生の「成績台帳」他、貴重な史料も数多くありました。

◀ 蚕糸講習所での指導内容や成績はもちろん、各工場従業員の性別、年齢、出身地他様々なデータの記載された「成績台帳」

「読む会」「いかす会」も参加して絹と木綿のものがたりフォーラムを開催—11/19アミーゴで—

11月19日(土)、仏子駅前の入間市芸術文化創造アトリエ(アミーゴ)において、「絹と木綿のものがたりフォーラム」が開催されました。群馬県高崎市からの「よみがえれ新町紡績所の会」や前橋 RAC、東京都から八王子織物工業組合・HOTMAN 株式会社(青梅)、横浜市からは横浜歴史資産調査会も参加して、関東のシルクロードをつなぐ取り組みとなりました。

「石川家の人々」を読む会では入間市の文化遺産をいかす会とともに右掲の展示をもって参加。多くの観客に説明を行いました。田村均崎大教授の講演等を含む催しには県外からも多くの参加者がありました。



△「石川組製糸と横浜生糸貿易」と題した当会の展示

次回(第90回)例会(忘年会も同日開催)のお知らせ

1. 期日 2016年12月21日(水) 午後2:00
2. 会場 入間市博物館 ALIT 会議室
3. 内容 ・「石川忠雄家文書」の読解(続き)

忘年会(入間市の文化遺産をいかす会と合同で)：同日午後5時30分より

会場：串いち(入間市駅前通り) 会費：4000円

【入間市生涯学習フェスティバル】に写真を展示・参加します 12/4(日)at 産文センター

来る12月4日(日)の9:45~15:45にかけて「いるまなびと大作戦」をテーマとして、第22回いるま生涯学習フェスティバルが開催されます。会場は産業文化センター周辺、前日午前中には会場作りと展示作成が行われます。当会は「石川組製糸と横浜生糸貿易」をテーマとした展示で参加します。「入間市の文化遺産をいかす会」も隣り合わせの展示スペースで参加しますが、今年は当会とは別のテーマでの展示となる予定です。会場作りと展示準備を手伝っていただける方は12月3日(土)朝9時30分に産文センターにお出でください。また当日の「店番」をお願いする場合があります。詳しくは電話等にて。(染井)

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13. NEWS

92

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

＊発行責任者：会長・染井佳夫（04-2936-3562）、幹事・齋藤祐司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担当

発行：2016. 12. 26

「石川忠雄家文書」から発智庄平校長名による中島萬吉氏への皆勤褒状発見！



△明治28年3月24日付けで、黒須高等小学校校長發智庄平氏の名で出された中島萬吉氏に対する皆勤褒状
第5回目となった例会における「石川忠雄家文書」読解の中で、第五(扇町屋)工場の初代工場長中島萬吉氏に対する黒須高等小学校での皆出席への表彰状が見つかりました。校長として、後に黒須銀行頭取となり、霞ヶ関カントリークラブ創設にも力を尽くした發智庄平氏の名があります。

次回(第91回)例会のお知らせ

1. 期日 2017年 1月28日(土) 午後1:30
2. 会場 入間市博物館 ALIT 会議室
3. 内容 ・「石川忠雄家文書」の読解(続き)

「石川家の人々を読む会」「入間市の文化遺産をいかす会」合同の忘年会開かれるー12/21ー

12月21日(水)の例会終了後、「入間市の文化遺産をいかす会」と合同で恒例の忘年会を開催しました。今年の入間市駅近くの居酒屋「申しち」に二つの会18名の会員が集まり、和気藹々の中で行われました。博物館勤務の会員が企画展準備終盤のため参加できなかったのは残念でした。

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

93

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

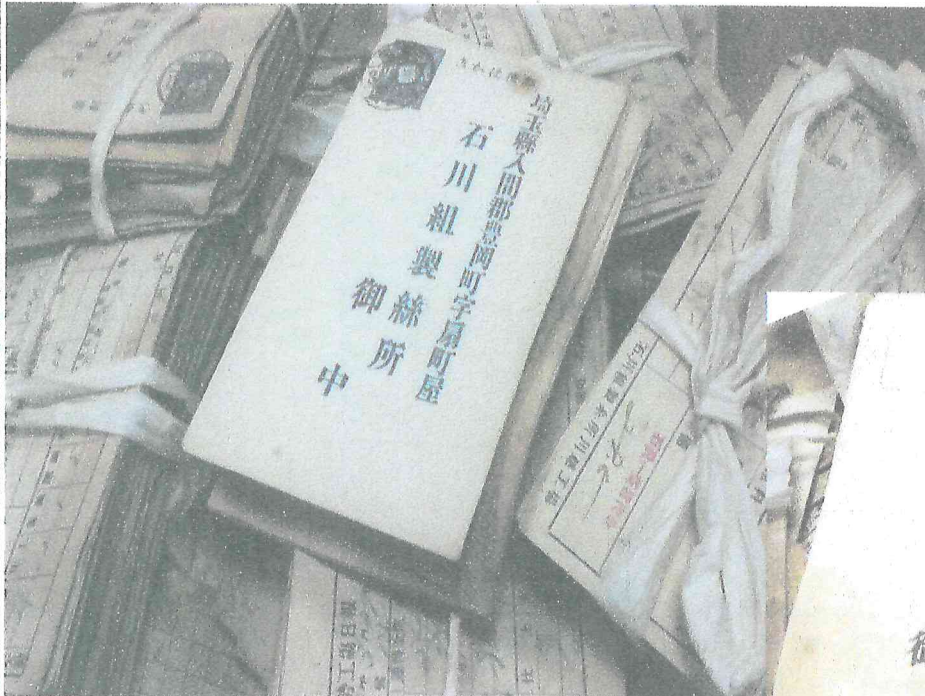
NEWS

号

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2017. 2. 7

「石川忠雄家文書」から全国各工場の生産高等日報を発見！ 経営数字の発見は初！



△大正15年～昭和6年にわたる石川組各工場からの生産日報(はがき)が発見されました(左上写真) また、川越工場宛と印刷された日報用誌(右下写真ハガキ大で裏面の「日報欄」は未記入)も発見されています。

第6回目となった例会における「石川忠雄家文書」読解の中で、第五(扇町屋)工場への大量のはがきが見つかりました。全国の石川組製糸各工場における日々の生糸生産高(等級別)や従業員出勤率等が1銭5厘の切手を貼ったはがきによって毎日届けられていたようです。

数枚ですが川越工場宛での日報用紙もあり、日報が石川組の全ての工場間でやりとりされていたのか、あるいは、その後川越工場が集約を引き継ぐことになったのか等は不明です。こうした集約活動は本来なら本店工場が担うものであるような気もしますが、今後解明すべき課題です。

次回(第92回)例会のお知らせ

1. 期日 2017年 2月26日(日) 午後1:30
2. 会場 入間市博物館 ALIT 会議室
3. 内容 ・「石川忠雄家文書」の読解(続き)

劇団アミーゴが今年は石川組製糸の工女たちを劇化します！

昨年は繭を鼠から守る「万次郎の猫」や金子十郎を扱った「JURO」を劇化した劇団アミーゴの劇作家原田氏が「遙かなる石川製糸」や「大地の園」を参考に現在執筆中です。楽しみですね。

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

94

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

NEWS

号

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2017. 3. 3

石川組製系西洋館のカーテン地から作られた帯に、かつての隆盛を偲ぶ!

帯を締めて出席した唐子小学校長と石川嘉彦氏→



刺繍は京都まで生地を送って依頼←した

川越在住の今井冷様(幾太郎氏の長女・そで氏の孫にあたる方です)が、西洋館のカーテン地に刺繍を施した帯をお持ちでした。今井様が西洋館講座にいらっしゃった折には、いずれは入間市博物館への寄贈も考えてくださるとのことでしたが、今回は東松山で行われた『天の園』『大地の園』のNHK朝ドラ化に向けたまちづくりイベントでのお披露目となりました。

イベント(下の記事で詳報)では、出演した児童の通う唐子小学校の校長先生が着物の上に締めて壇上から挨拶された際に帯の来歴についても触れられました。会場には今井様も見えられました。

写真はイベント終了後に控え室で石川嘉彦氏と一緒に撮らせていただいたものです。

「天の園」「大地の園」をNHK朝ドラに!!-東松山市まちづくりサポート事業助成イベント- 開かれる!!

見出しのイベントが2月18日(土)午後、東松山市の松山市民活動センターで行われました。当日は『大地の園』の朗読、「劇団ふたり」による『天の園』人形劇や唐子小学校5年生児童の全員出演による『天の園』名場面寸劇集等が行われました。ロビーでは『天の園』『大地の園』や打木村治に関する様々な展示も行われ、多くの観客が見入っていました。

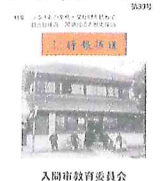


次回(第93回)例会のお知らせ

1. 期日 2017年 3月25日(土) 午後1:30
2. 会場 入間市博物館 ALIT 会議室
3. 内容 ・「石川忠雄家文書」の読解(続き)

「文芸入間」39号(市制施行50周年記念号)は「黒須周辺の歴史探訪」特集を配布中!!

文芸入間



入間市教育委員会



▶「楽蔵」(特号18号)は石川洋子氏の次男嘉吉により設計として建てられたもの。基本面積180坪、3階建ての大規模な土庫。表から見ると窓枠など少々粗んで見えるが、非常に頑丈な造りです。ここに武蔵豊岡教会の拝堂の塔子が保存されており、馬車を利用してコンサートイベントが開催されています。

◀「新道の家」とは、入間川、川原、道に面して建てられたのでこの時は「新道の家」と呼ばれていた。石川洋子氏が石川組の代表取締役の次女である石川忠雄(石川忠雄)の住居。母屋は入間市史跡の「西洋館」と比較しても洋館を凌ぐ洋館の入り口デザインが特徴的です。尚、見守り亭(日本橋の石川家)を築いた「入間の道」14社、つとみさんがお一人お一人でお参りしています。



今年の「文芸入間」が3月1日に発行されました。特集は「黒須周辺の歴史探訪」。西洋館や武蔵豊岡教会はもちろん、「新道の家」と「楽蔵」も紹介されており、「蔵と石川権吉」と題する石川洋子氏(会員)の文章も載せられています。会員の忍足ゆみ氏が編集委員です。現在市内公民館等で無料配布中です。

△表紙

△「新道の家」(左)「楽蔵」の紹介記事

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

96

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

NEWS

号

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2017. 5. 3

『石川家の人々』を読む会総会が開かれました !!



去る4月29日(土)石川洋行において、「石川家の人々」を読む会の総会が開かれ、昨年度の決算他や今

「石川家の人々」を読む会 平成28年度決算

収入				
項目	予算額	収入額	比較増減額	説明
会費	88,000	80,000	▲ 8,000	3000円×21人 2000円×7人 H27分1人
継続金	47,648	47,648	0	
売上	6,000	700	▲ 5,300	寿寿のあと・東洋の芋紙
寄付	0	29,700	29,700	0名。他に切手12枚
合計	141,648	158,048	16,400	

支出				
項目	予算額	支出額	比較増減額	説明
会場費	3,000	1,200	▲ 1,800	例会会場使用費(4-7月)
印刷費	22,000	18,048	▲ 3,952	ニュースレターカラーコピー代
通信費	15,000	17,480	▲ 2,480	ニュースレターの送付用切手代
交通費	12,000	12,000	0	ニュースレター印刷と配布にかかる燃料代の補助
例会費	16,500	6,000	▲ 10,500	例会のレポート会員に資料コピー代補助として1000円×6人。
消耗品費	26,000	28,908	▲ 2,908	インクカートリッジ・封筒・紙
予備費	46,548	0	▲ 46,548	
合計	141,648	84,636	▲ 57,012	

158,048 - 84,636 = 73,412
73,412円を平成29年度に繰り越します。

平成28年 4月29日
会計 三浦 久美子
平成28年度「石川家の人々」を読む会の収支決算について、関係帳簿および関係書類を監査、いずれも適正であることを認めます。
平成29年 5月29日
監事 石川 嘉彦 (行) 石川 洋行 (印)

年度の活動について話し合われました。

今年は10月21日から12月10日にかけて入間市博物館で「石川組製糸展(仮称)」が開催予定のため、準備期間および開催期間中に会として何ができるか等について真剣な議論が行われました。

欠席された基本会員の皆さんには、総会当日の配付資料を同封させて戴きます。

左上写真/総会当日の様子(於 石川洋行)

右写真/2016年度決算書

【2017年度会費未納の方はお振り込み等をお願いします!!】

郵便局内の ATM からの振り込みが最も安くなります。郵貯銀行からと他銀行からの振り込みとは、口座番号等に若干の違いがあります。会費は基本会員3000円、購読のみの方2000円です。

	口座記号番号	口座名
郵便局から	口座通帳記号 00100 口座番号 001 - 2 - 791138	漢字:「石川家の人々」を読む会
他銀行から	店番:0-9 種目:当座 口座番号:0791138	カナ:イカノヒト ヲミカ

*申し訳ありませんが、振り込み手数料はご負担下さい。または最寄りの会員にお預け下さい。

次回(第95回)例会のお知らせ

1. 期日 2017年 5月25日(木) 午後6:30
2. 会場 石川洋行(間違えないように)
3. 内容・スライドショー 石川組製糸関係の写真資料を見る(「石川組製糸展(仮称)」展示に向けて)他
*平日夜間に行いますので是非大勢のご参加を!

会員による講演会情報 旧石川組製糸西洋館講座「入間に西洋館ができた時代！」

- 主催：入間市博物館
- 日時：5/13(土)10:00～12:00 開始10分前までにご来場ください。
- 講師：染井佳夫氏
- 〔1部〕講義 90分 〔2部〕館内見学 30分

申し込み：入間市博物館アリット(04-2934-7711)へお電話でお申し込み下さい

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

97

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須岡公民館にもファイルがあり、読むことができます

NEWS

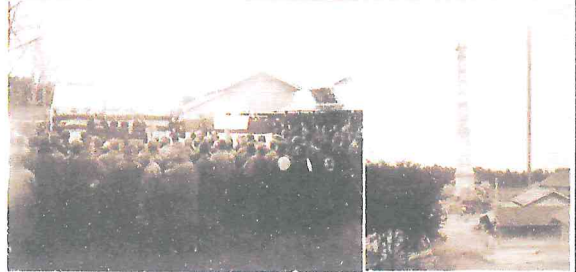
号

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2017. 6. 1

例会で石川組製系関連の写真資料を会員が検討しました !!

去る5月25日(木)石川洋行において、「石川家の人々」を読む会の第95回例会が開かれ、今秋の「石川組製系展」(仮称)に向けて、石川組製系関連の写真資料をプロジェクトから投映しながら全員で検討しました。多くの写真資料は「石川家の人々」の編集に尽力された石川三郎氏を含め石川各家のご協力により収集されたものです。その中から2点の写真をご紹介します。



左/備品評会(於 原ノ町工場) 右/建築中の原ノ町工場煙突

「豊岡大学」の封筒と開講通知状が見つかりました!



豊岡大学 第九回講座

日曜日に開催される「豊岡の歴史と文化」の講座は、今年も「豊岡の歴史と文化」をテーマとして、豊岡大学が主催する。今年も「豊岡の歴史と文化」をテーマとして、豊岡大学が主催する。今年も「豊岡の歴史と文化」をテーマとして、豊岡大学が主催する。

豊岡大学 第九回講座

日曜日に開催される「豊岡の歴史と文化」の講座は、今年も「豊岡の歴史と文化」をテーマとして、豊岡大学が主催する。今年も「豊岡の歴史と文化」をテーマとして、豊岡大学が主催する。今年も「豊岡の歴史と文化」をテーマとして、豊岡大学が主催する。

【2017年度会費未納の方はお振り込み等をお願いします!!】

郵便局内の ATM からのお振り込みが最も安くなります。ゆうちょ銀行からと他銀行からのお振り込みとは、口座番号等に若干の違いがあります。会費は基本会員3000円、購読のみの方2000円です。

	口座記号番号	口座名
郵便局から	口座通帳記号 00100 口座番号 001-2-791138	漢字:「石川家の人々」を読む会
他銀行から	店番:〇一九 種目:当座 口座番号:0791138	カナ:イカガヒヒト ヲミガ

*申し訳ありませんが、振り込み手数料はご負担下さい。または最寄りの会員にお預け下さい。

次回(第96回)例会のお知らせ

1. 期日 2017年 6月23日(金) 午後6:30
2. 会場 石川洋行母屋
3. 内容 ・スライドショーの続き・石川組製系関係の写真資料を見る「石川組製系展」(仮称)展示に向けて
*平日夜間に行いますので是非大勢のご参加を!

RAC フォーラム情報 NPO 街・建築・文化再生集団主催 福島フォーラム!

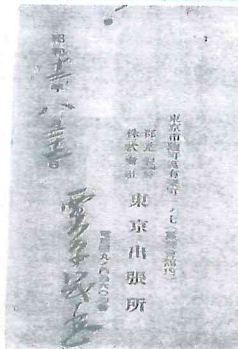
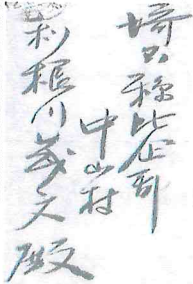
- ・日時: 7/8(土)~9(日) ・申込先 〒371-0035前橋市若神町2-7-5中村武 TEL 027-210-2066 FAX 027-235-0643 e-mail act@npo-rac.org 詳しくは URL <http://www.npo-rac.org> でお確かめ下さい。
- *報告者: 染井佳夫氏 「保次郎と信雄-石川組製系の原ノ町進出と子女の文学活動」(仮題)

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2017. 8. 4

石川組製糸本店工場の郡是への売却に関する史料(手紙)が見つかりました!



所沢市在住の熱心なコレクター登坂宏氏が入間市博物館での「石川組製糸ものがたり展」に向けて一通の手紙を提供して下さいました。昭和12年8月23日付けで郡是製糸株式会社東京出張所の栗原氏より埼玉県比企郡中山村(現川島町)の利根川茂文氏あてに出された手紙の内容からは、石川組製糸本店工場を郡是が買収したことが窺えます。解読された発智金一郎氏によれば、裏面のとおり。

◁郡是製糸東京出張所の栗原氏より利根川茂文氏宛に出された手紙封筒の表裏

シルクロードネットワークふくしまフォーラムで

「石川組製糸の原町進出と子女の文学活動」を報告しました!!

7月8日(土)~9日(日)コラッセふくしまにおいて開催された、今年の「シルクロードネットワークフォーラム」で、標記内容の短い報告をしてきました。フォーラム前日の午後には、原町出身で福島市在住の研究者

二上英朗氏と石川保次郎氏の実家高篠家に連なる高篠文明氏(仙台市在住)にお会いして多くを学ぶことができました。「石川組製糸ものがたり展」にも有益な史・資料の提供が福島滞在中にも、帰郷後もされています。

(染井佳夫)



二上 英朗氏(左側)と高篠文明氏(2人は原町小同級生)
高篠氏作の絵はがきより石川保次郎の子どもたち(左写真)

次回(第98回)例会のお知らせ

1. 期日 2017年 8月30日(水) 午後6:30
2. 会場 石川洋行母屋
3. 内容 「石川組製糸ものがたり展」について、福島報告ほか

劇団ふたりが人形劇「大地の園」をクラッセ川越で上演!

・7月28日(金)13時30分よりクラッセ川越で、劇団ふたり(当会会員の室田ご夫妻)により、新作の人形劇「大地の園」が上演されました。石川幾太郎の長女・そでさんの孫今井冷氏主宰の会に当会より玉井康夫・石川洋子・藤井のり子・山戸壽子・齋藤祐司・染井佳夫が出席しました。



登坂宏氏蔵

郡是製糸東京出張所栗原氏より比企郡中山村(現川島町)利根川茂文氏宛
書状昭和十二年八月二十三日付

読み下し文は発智金一郎氏のものの一部を染井が改め、または○に戻した。写真部分は下掲の読み下し文中に太字で示してある。

拝啓無事、昨今御座り
り申す地味な経済的
の困難ある善悪ある
たもろくも御座り
何れも御座り
御座り申す
御座り申す
御座り申す
御座り申す
御座り申す
御座り申す

謹啓/今回は思はぬ御受難誠にお気の毒に
存居り候/其の後御体にはお変はり無く候や
/御案じ申し居候間、充分御静養願ひ度候。
/さて、今回入間川町石川本店工場を買収し
○開業の予定に有之、係員度々参上、非常
の御厚遇預り居り候由、誠に同窓は有り難き
ものと感謝申し居り候。/早くより郡是製糸
を関東に設置の意思なりしも機会之無く、漸
く昨今に至り申し候。/地方経済的に至大の
関係ある養蚕業にハ有力なる○を御得る事が
何よりの心強き事にて其の点ハ確かに関東ハ
恵まれざる
状態に之有り候て、従って種々の点にて未発
達の点之有りと考へ居り候。/然てハ郡是製
糸の設置ハ此の点確かに改新の一段階と考へ
られ御役に立つ事
と存じ候間、何卒御鞭撻、御教導賜り度く懇
願申し上げ候。/実は早くより御拝面、○
○お詫び○御助援を願ひ度く存じ居り候も何
かと差し支え之有り失○申し居り候。/其の
内経営の旁々従者等同伴御拝面を○たく存居
り候間何分よろしく御願ひ申度く候/残暑厳
しき折りから呉々も御身体大切に御願ひ申し
度く候/敬具/二十三日/栗原○/利根川
茂文 大兄

*文書の内、写真の部分は傍線(一)によって示してある。

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

100

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

NEWS

記念特別号

* 発行責任者：会長・染井佳夫（04-2936-3562）、幹事・齋藤祐司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担当

発行：2017. 9. 13

会員が博物館に協力して「石川組製糸ものがたり」展の準備進む！

- 図録原稿・展示資(史)料解説の作成に会員が参加 -



「石川組製糸ものがたり」展に向けて、図録原稿・展示資(史)料解説の作成・編集作業が進んでいます。入間市博物館の求めに多くの会員が応じて、調査・執筆に励んでいます。主担当の三浦久美子・平田光洋両学芸員も研修出張から夕方帰館しての残業や休日返上で仕事の日々が続いています。より良い展示会にしたいとの思いが、館にも会員にも漲っています。ぜひご観覧の上、「図録」もご購入ください。

△石川組製糸輸出用生糸商標/金星(SPRING)-入間市博物館蔵-

「石川組製糸ものがたり展」関連事業を紹介します !!

期間: 10/21(土)~12/10(日) 休館日: 毎月曜日, 10/24, 11/24, 28 無料観覧日: 11/1, 14

■ 繭から糸をひく技を見よう~糸繰りの実演~ □ 劇団アミーゴ公演「青き繭の記」演出: 原田裕史
11/4(土) 13:00~16:00 製糸女工たちの物語(史実とフィクションと)

実演: 多摩シルクライフ21研究会

11/19(日) 18:00~

小此木エツ子氏(代表)・境京子氏・難波多美子氏

定員: 70人 チケット: 500円

□ 講演会①「石川組製糸と石川家の人々」

チケットは 10/12 より博物館閲覧室で販売

11/18(土) 13:30~15:30

■ 「黒須こけーら散歩」

講師: 染井佳夫氏(『石川家の人々』を読む会代表)

~石川組ゆかりの建築をめぐる~

■ 講演会②「官営富岡製糸所長 速水堅曹の活躍」

11/11(土) 13:30~16:30(頃)

12/4(土) 13:30~15:30

W.M.ヴォーリズ設計の武蔵豊岡教会や、

講師: 速水美智子氏(速水堅曹研究会代表)

本店工場跡地等黒須地区に遺る石川組製糸

①は電話申し込み受付中(定員 140名)

ゆかりの建物を見学します。定員 30名

②は 11/1 より電話申し込み受付(定員 140名)

参加費: 500円 博物館へ往復葉書で申し込み

講演会の聴講は無料です。電話申し込み先: 04-2934-7711 入間市博物館

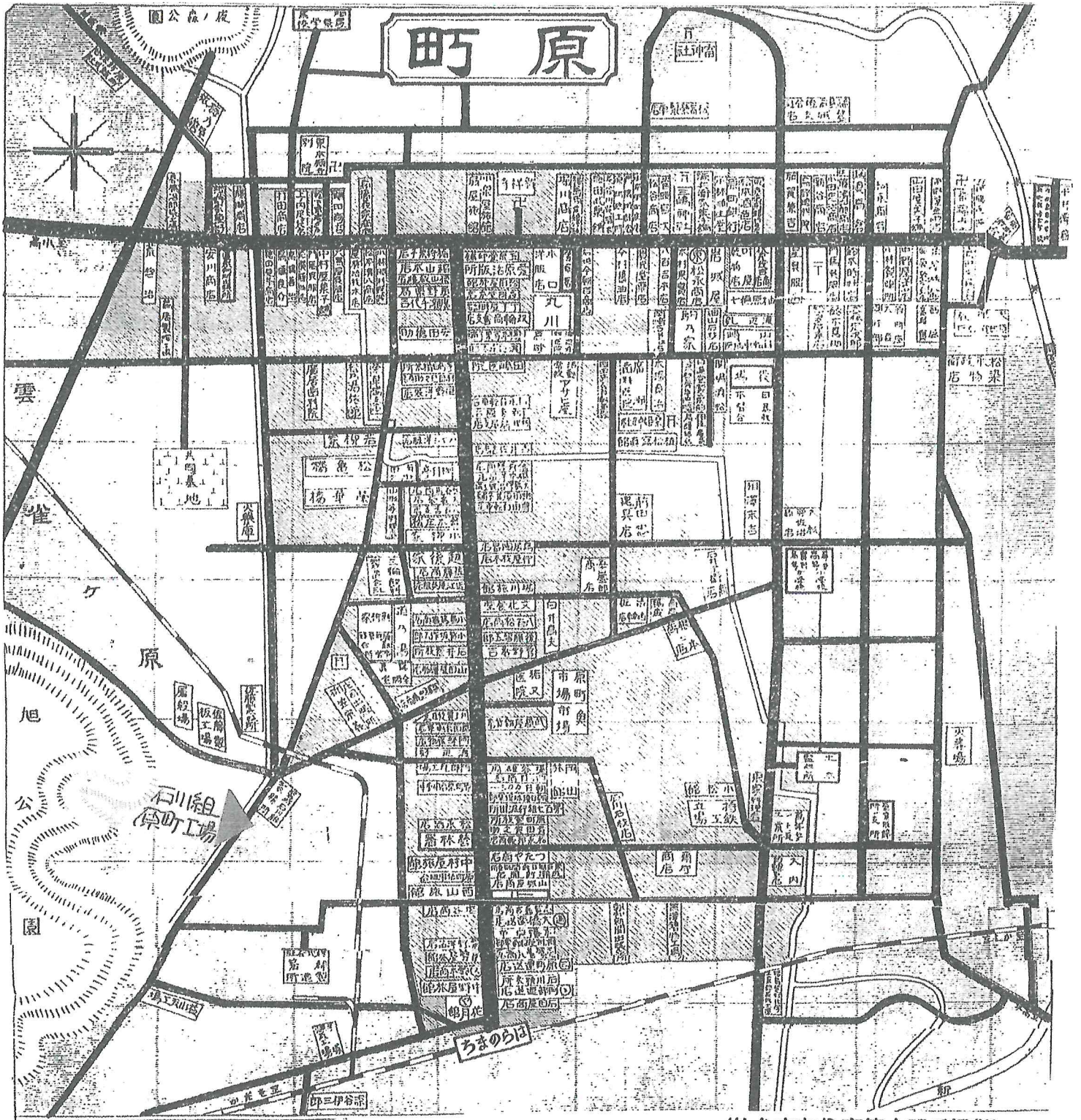
往復葉書での申し込み先は 〒358-0015 入間市二本木 100 番地 入間市博物館

次回(第99回)例会のお知らせ

1. 期日 2017年 9月27日(水) 午後6:30 2. 会場 石川洋行母屋

3. 内容 「石川組製糸ものがたり展」についての新情報、「石川組製糸進出前後の原町」(染井)

福島県原ノ町駅前市街地図の中の石川組原町工場



(仙台市在住高篠文明氏提供)

『原町市史』では『相馬原町案内』より引用して石川組原町製糸所をこのように紹介しています。

「停車場通り南東原に在り、……石川保次郎氏之を經營す、合名会社にして資本金三十七万円、本店は埼玉県豊岡町にして三カ所に支店を置く。当所は大正六年十二月原町支店と改称し、当支店資本金四万一千円にして四ヶ所中其設備最も大なりと云ふ、現在工女三百六十人、其他従業者男工等を合して約五百人、社運益々隆盛なり」 上図からは工場内に、海岸線(現在の常磐線)からの引き込み線が通っていたことも確認されます。

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

101

NEWS

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562)、幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当

発行：2017. 10. 3

次回は第100回例会！『石川家の人々』を読む会はさらなる高みへ！

— もうすぐ ALIT フェスタ2017「石川組製糸ものがたり」展 —

いよいよ ALIT フェスタ2017「石川組製糸ものがたり」展の開会が今月21日と近づきました。展示図録の編集もほぼ終わり、22日(日)の10時からエントランスでレセプションも行われます。折悪しく衆議院議員選挙の投開票日と重なったため多くの取材はないものと思われそうですが、会員は全員が招待されていますので、ご都合のつくかたはお集まりください。式典に続いて展示見学が行われます。当日夕刻からは第100回記念の例会(お祝いの会)を館庭のレストランー煎でおこないますので、そのまま午後も見学や展示解説ボランティアをしていただければさらにありがたく存じます。もちろん一度ご帰宅後再集合されても結構です。

99回例会で福島フォーラムでの報告をパワーポイントと配付資料で！！

9月27日に行われた第99回例会では、染井佳夫氏が、7月に福島市で行われたシルクロードネットワークのフォーラムで報告した内容を会員向けに再報告しました。

このところの例会には、川越(霞ヶ関)の発智金一郎氏や遠く東松山市から参加の室田さんご夫妻(「劇団ふたり」として『天の園』『大地の園』を人形劇化して公演されています)等、遠隔地からの参加者も増えています。

保次郎と信雄—石川組製糸の原ノ町進出と子女の文学活動—



「石川家の人々」を読む会 染井佳夫

目次

- I 石川組製糸という会社
? 豊岡町(入間市)から全国へ?
- II 石川保次郎と信雄と弟妹たち
 - 1. 保次郎の入籍 2. 保次郎の原町工場経営
 - 3. 石川信雄と弟妹たちの文学活動



次回(第100回)記念例会(お祝いの会)のお知らせ !!

- 1. 期日 2017年10月22日(日) 午後5:00
- 2. 会場 レストランー煎(入間市博物館庭)
- 3. 内容 資・史料交換(有る方は20枚程度ご持参下さい)・会食と祝宴
- 4. 会費 食事・デザート(石川組製糸ものがたり展記念「まゆだませんざい」)
・ウーロン茶/2000円

他にアルコール類は飲んだ方のみで別会計(割り勘)とします。

*当初開会は午後5:30としましたが、当日市職員の会員が衆議院議員選挙の開票作業に従事しなければならなくなったため、30分繰り上げさせていただきました。

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

102

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

NEWS

号

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2017. 11. 3

10/21入間市博物館 ALIT で「石川組製糸ものがたり」展はじまる !!



式典で挨拶する田中市長

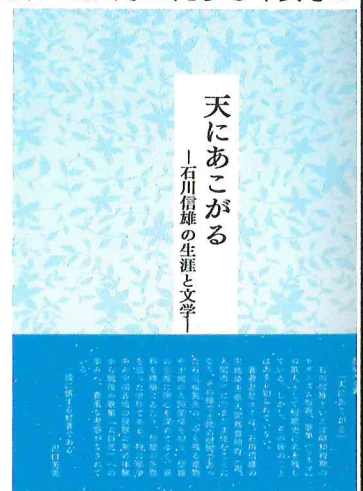
同挨拶する石川嘉彦氏

待望の「石川組製糸ものがたり」展が台風21号の近づく10月21日(土)に始まりました。翌22日にはエントランスホールでオープニングセレモニーが開催され、市長・議長・教育長に続いて創業者石

川幾太郎の曾孫石川嘉彦氏が挨拶されました。プロローグ他7部構成の展示には石川各家や他の施設からの新史料も含まれ、大変充実しています。是非ご覧ください。また、展示会図録はA4判全56ページに主な展示資・史料の写真やデータとその解説や国内外の動きと対比された石川組製糸・石川家に関する年表等が収録されており、館内売店宇茶戯で定価700円で販売中です。

会員の忍足ユミ氏が石川信雄の評伝を出版 !!

当会会員の忍足ユミ氏が、短歌誌『滄』に長期連載した評伝「石川信雄—悲運の大器」を元に加筆してまとめた『天にあこがる—石川信雄の生涯と文学—』を出版されました。7章による構成で全212ページ。福島県原町での出生・川越中学での少年時代から歌集『シネマ』(戦前)~『大白光』『飯能文化』『武蔵文化』(従軍・戦後)~『宇宙風』(晩年)を論じています。また、巻末には「年譜」も収録されており、石川信雄の精神と作品の遍歴を知るための好著です。制作は文化新聞社、定価1,500円で入間市博物館の売店宇茶戯にて購入可能です。表紙帯には歌人の沢口芙美氏が推薦文を寄せられています。購入・ご一読をお勧めします。



台風で延期された第100回記念例会(お祝いの会)のお知らせ !!

1. 期日 **2017年11月18日(土) 午後5:30**
2. 会場 **レストランー煎(入間市博物館庭)**
3. 内容 **資・史料交換(有る方は20枚程度ご持参下さい)・会食と祝宴**
4. 会費 **食事・デザート(石川組製糸ものがたり展記念「まゆだまぜんざい」)・ウーロン茶/2000円 他にアルコール類は飲んだ方のみで別会計(割り勘)とします。**

*博物館勤務会員の勤務終了時間に配慮して、開会時刻を17時30分に戻しました。終了が終バスの時刻を過ぎるので、飲酒されなかった方には駅等へのご送迎についてご協力をお願いできれば幸いです。

■ 仙台市在住の高篠文明氏(石川信雄の父・保次郎の実家に連なる石川家親族)より3万円ものご寄付を頂きました。

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

103

NEWS

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

* 発行責任者：会長・染井佳夫(04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司(090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：201711, 25

入間市博物館 ALIT での「石川組製糸ものがたり」展に高い評価 !!

「石川組製糸ものがたり」展が入間市博物館で始まってから約30日。会期の半分が過ぎようとしています。

「座繰り体験」や講演会(11/18の講演会は講座室が満席状態になる盛況でした)・演劇公演等関連イベントも催され特別展示会は静かな盛り上がりを見せています。今次展示会の特長としては、①来観者が一様に熱心で、長時間観ていられる方が多いこと②養蚕・生糸輸出入等の専門家や研究者が来観し、その多くの方から



高い評価が得られていること③石川家一族を中心に、仙台・福島・甲府・豊橋等遠方からの来観者が多いこと④入間市博物館発行の「展示会図録」(700円)や石川信雄の評伝「天にあこがる」(忍足ユミ著1500円)が良い売れ行きを示していること、等です。本紙をお届けする頃には会期も残り少なくなっています。お誘い合わせの上、皆様の早めのご来観をお待ちしております。

【来観者(団体)の一例】速水美智子様(富岡製糸場研究者・12/2入間市博物館で講演予定), 林久美子様(岡谷蚕糸博物館学芸員), 所沢織物文化研究会の皆様, 西忠雄様(生糸輸出入企業による協会元事務局長), 高麗文康様(高麗神社宮司), 藤井美登利様(川越きもの散歩代表), 霞ヶ関郷土史研究会の皆様, 打木村治の自伝的長編小説『天の園』『大地の園』NHK 朝ドラ化をすすめる会の皆様, 村上民様(自由学園羽仁両先生記念図書・資料室研究者), 蔵田毅様(盛信学園東野高等学校図書館), 佐滝剛弘様(高崎経済大学特命教授), 田村均様(埼玉大学教育学部教授), 水村雅啓様(入間市芸術文化創造アトリエ・アミーゴ代表) (含む予定者)

恒例の「入間市の文化遺産をいかす会と合同忘年会のお知らせ !!

1. 期日 2017年12月11日(月) 午後6:30
2. 会場 インド料理ジャイプール(入間消防署から南方)
3. 内容 「石川組製糸ものがたり」展の報告(博物館)他・会食と祝宴
4. 会費 食事・3000円 アルコール類・ノンアルコールの美味しいラッシー等もあります

*出席者数をとりまとめる必要があります。出席予定者は石川洋子(04-2962-3420)または染井佳夫(題字下に上掲)宛、12月5日までにご連絡ください。

*質問や解説希望をされる来観者があるそうです。休・平日を問わず余裕のある日にご来館・お手伝い下さい。

*佐滝剛弘氏の近著「登録有形文化財」(勁草書房刊)に、旧石川組製糸西洋館が紹介されています。氏は11月18日の講演会にも来聴されました。

*11月12日付けの埼玉新聞1面に「石川組製糸ものがたり」展が大きく紹介されました。また、11月19日付け毎日新聞「今秋の本棚」欄に石川輝子・鈴木ひとみ編「石川信雄著作集」が堀江敏幸氏により評されました。

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

104

NEWS

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2017. 12. 23

入間市博物館 ALIT での「石川組製糸ものがたり」展閉幕

展示内容の広さ・深さとイベントに高評価!!

入場者数目標を突破！「図録」も完売！

閉幕を前にして目標入場者数は突破し、しかも「図録」も完売となり、目下予約希望リストが作られ増刷が決まっています。解説ボランティアに従事した会員からは「熱心な観覧者が多かった」「『来て、知って良かった』と聞いてうれしかった」の声が集まっています。

記念講演は2回とも大成功!!

劇「青き繭の記」も満席、感動の声！

11月18日(土)の講演「石川組製糸と石川家の人々」(講師：染井佳夫氏)は講座室も満席の盛況。12月2日(土)



講演後にまで盛り上がりを見せた速水氏の講演会

の講演「官営富岡製糸所長 速水堅曹の活躍」でも、熱心な聴衆が終了後も会議室で質問や交流をしました。

11月19日(日)夜の劇団アミーゴ公演「青き繭の記」は1時間50分の大作ながら真剣に見つめる観客で満席の観客から感動の声が上がりました。また、今回は市広報課の協力なバックアップもあり、「埼玉新聞」が一面トップに取り上げた他、「東京」「朝日」「読売」が県版に4,5段組みで取り上げる等マスコミからも注目されました。



熱っぽく講演中の山口勝治氏

入間市博物館 ALIT 以外でも会員の講演相次ぐ!!

山口勝治氏が「豊田佐吉のサポーター 古市勉と藤野亀之助」講演

TV ドラマ「陸王」で注目の行田市の旧足袋蔵・牧禎舎で標記の講演をされました。NPO ぎょうだ足袋蔵ネットワーク主催の「大人の寺子屋」の第1回講座として行われたもの。「内外綿」「裕豊紡(カネボウ)」「豊田紡」等の

「在華紡」に「ひと」と「建築」の2つのアプローチで迫る山口氏のお話にはとても説得力がありました。講座では、藤井美登利氏(さいたま絹文化研究会事務局)の講演「レトロモダンな都市・上海と埼玉をめぐるエピソード」も美しい写真をふんだんに用いて行われました。

▶ 予告 『天の園』『大地の園』をNHK朝ドラに! 東松山集會会員の忍足ユミ氏が打木村治について語ります。(裏面参照)

次回『石川家の人々』を読む会例会のお知らせ

1. 期日 2018年 1月26日(金) 午後6:30
 2. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)
 3. 内容 「石川組製糸ものがたり」展の報告(報告/三浦,平田 特別報告(「安部立郎・打木村治と川中」/ 染井), 次回以降の相談→『喜寿の安登』コピー及びご自身の2月の予定表をお持ちよりください。
- *購読会員が1人増えました。土屋美恵さん、武蔵野鉄道に関心がお有りとのこと。2月例会から、またテキストは『喜寿の安登』に戻ります。

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

NEWS

105
号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2018. 2. 5

旧石川組製系西洋館の改修工事すすむ

7月7日の再開めざし市民ガイド養成こそ急務!!

公開日数の大幅増に対応できない現状 !!

現在工事中の西洋館は7月7日に再開セレモニーが予定されています。しかし、年間公開日数も大幅に増えることから、現状では観覧者に対応するガイド等のボランティアが圧倒的に不足しています。博物館と協力して多数の"市民ガイド"を養成することが急務です。

必要な解説能力, "おもてなし"の体制 !!

イベント企画・運営への市民参加も!

本会と協力関係にある入間市の文化遺産をいかす会では"市民ガイド"養成と西洋館公開日のおもてなし計画



改修工事の進む西洋館(外観)



作成についての動き

が始まっています。また、西洋館の公開部分が広がることも予定されており、新しい活用方法を考えることも必要となってきました。

東松山, 川越で会員の普及・講演活動相次ぐ!!

唐子で『天の園』『大地の園』NHK 朝ドラ化に向け忍足氏、川越市笠幡で染井氏が

従来非公開だった裏廊下も公開準備中 東松山市唐子地区体育館を会場として1月27日に催された『天の園』『大地の園』のNHK 朝ドラ化をめざす「ふるさとの宝『天の園』『大地の園』からのメッセージ」集会で本会会員の忍足ユミ氏がトークショーに出演、打木村治について熱く語りました。トーク終了後埼玉新聞社からの取材があり、2月中には記事掲載の予定だそうです。

2月3日(土)には川越市笠幡の埼玉育児院を会場にお借りして、同地の郷土史研究会で染井佳夫氏が「石川組製系という会社があったー豊岡・川越を中心とした経営と社会貢献ー」と題した講演を行いました。同育児院は大正元年に比企郡菅谷村に創設された積徳育児院から大正3年に改称、昭和に入って現在地に移転したという伝統ある児童養護施設です。

次回『石川家の人々』を読む会例会のお知らせ

1. 期日 2018年 2月23日(金) 午後6:30
2. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)
3. 内容 「石川組製系ものがたり」展の報告/三浦,平田 特別報告(「安部立郎・打木村治と川中」) / 染井, 次回以降の相談→『喜寿の安登』コピー及びご自身の3月の予定表をお持ちください。

*1月例会は急な中止連絡を差し上げてご迷惑をおかけしました。発足以来例会の中止は残念ながら2度目となりました。3月例会から、またテキストは『喜寿の安登』に戻ります。

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

106

NEWS

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2018. 3. 5

『大地の園』の主人公・河北保に投影された打木村治の青春—唐子～川越—を報告 保(作品中の打木村治)・久仁子(同祖代)や本家の馬橋(同馬場)家を取り上げる!!

以下の内容で染井佳夫氏が「さいたま絹文化研究会通信」vol 12,13を元に例会報告をしました。

担当した川端康成に見出されて税務署員から作家に !!

早大卒業後大蔵省(当時)に入り、厩橋税務署員の頃担当区域の川端氏に才能を認められ、1938年(昭和13)刊「部落史」が芥川賞候補になったのを機に退職して文筆生活に入った。

あーちゃん(工女総監督)からも工女たちにも好かれた国代!!

作中で"女子師範にでも進める利発な少女"として描かれた久仁子(打木祖代)は弟保(村治)を川越中学に進めるために石川組製



白井家の一家(最後列右から2人目が良助)

糸本店工場に勤めました。美貌で利発な国代は工女総監督のあーちゃん(石川勉)に村田簿記学校速習科に派遣された後、事務室勤務となりました。副社長白井幸助の子良助(作中では白良輔)との出会いも本店工場でした。

(第一期卒業生安部立郎らによる)同志会の影響で気概あふれる川中生・川越市民の自由な気風



明治32年(1899)に埼玉県立第三中学校として創設された川越中(現川越高)は初代校長増野悦興(まのよおき)の影響下、自由闊達な校風で知られていました。更迭された以後も彼を慕う第一期生安部立郎(あべたろう)の組織した「同志会」がワンマンな第三代校長を批判する等、母校の民主化にも取り組みました。会員の発智金一郎氏によれば、安部は

◀安部立郎 発智庄平の指導する埼玉県学友会の理事にも就任しています。

「秩父絹発祥の地・横瀬」をテーマにフォーラム!!

さいたま絹文化研究会主催で3月18日(日)に横瀬町民会館(横瀬駅下車7分)にて…

秩父・高麗・川越氷川の3神社宮司が役員を務める「さいたま絹文化研究会」が絹文化フォーラムを開催します。期日は3月18日(日)13:00~16:30に横瀬町民会館大会議室で開催されます。埼玉県産業技術総合センターの影山和則氏・埼玉大学教授田村均氏の講演の他、11時から40分間銘仙鑑定会も開かれます。

裏面にフォーラムの企画詳細と参加申し込み書があります。まだお申し込み受付中です。

次回『石川家の人々』を読む会例会のお知らせ

1. 期日 2018年 3月23日(金) 午後6:30
2. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)
3. 内容 『喜寿の安登』p.62 第49節「四年間の洋行と効果」～ 報告者：山戸壽子
4月の予定表をお持ちよりください。

*3月例会から、またテキストは『喜寿の安登』に戻ります。4月の例会報告は平田光洋氏になる予定です。春とはいえ、寒い日々が続きます。お身体ご自愛ください。

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

NEWS

107
号

入間市立図書館・各分館と久保福荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2018. 3. 29

『喜寿の安登』の報告例会を再開——番手は山戸壽子氏——

和助は第5回内国勧業博(大阪)を見学後渡米(紐育)・留学へ!!



The Main Entrance and the Spring Water. 水噴及門正

天王寺今宮の主会場正門と噴水

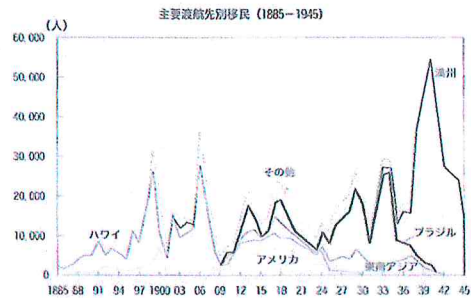
明治36年(1903)、和助は洋行・留学を前に「外を見る前に先ず内を見る」べきと考えて同行7人で京都・大阪(第5回内国勧業博覧会)・奈良・吉野(満山櫻花爛漫)へと旅立ちました。

明治10年に「殖産興業」を目的として上野公園を会場として始まった内国勧業博覧会は、第4回を京都岡崎公園で開催した後、8年ぶりに大阪で開催されました。この第5回は会場の敷地面積や建坪がほぼ2倍という大規模なもので、入場者数は530万人を超え、それまでの最多だった第4回の4.7倍となりました。

大阪天王寺今宮の会場には、初めて参考館として諸外国の製品も展示されました。留学を前にした和助は強い刺激を受けた筈です。

太平洋航路でハワイを経由してシアトルへ、その後鉄道(グレートノーザン線)でニューヨーク行きか?

「喜寿の安登」によれば関西から帰ってすぐ渡米した和助は途中でハワイに立ち寄っています。日本郵船が横浜—シアトルの太平洋航路を開いたのが明治29年(1896)ですから、和助のアメリカ上陸地点はシアトルの可能性が高いようです。ただ、日本郵船にも Pacific Mail Line や O&O Ships 等の競合外資もありました。上陸後のグレートノーザン鉄道の旅を含め、横浜からニューヨークまでは36日程度を要していました。また、右のグラフで分かるように20世紀初頭以降、アメリカ移民は一旦落ち込みました。図録「日本人を南米に移住せしむ」(渋沢史料館編)より▶



(出典) T. Suzuki, ed. The Japanese Immigrant in Brazil (University of Tokyo Press, 1969), pp.282-283より



▲講演する田村教授

さいたま絹文化研究会が主催、埼玉県産業技術総合センター影山和則氏・埼玉大田村均教授が講演 !!

秩父絹発祥の地・横瀬でさいたま絹文化フォーラム in 横瀬開催

さいたま絹文化研究会が絹文化フォーラムを3月18日(日)に横瀬町民会館大会議室で開催しました。役員として秩父・高麗・川越氷川の3神社宮司が揃い埼玉県産業技術総合センターの影山和則氏・埼玉大学教授田村均氏の講演が行われました。本会からは玉井・牧野・本多・染井の4名が参加しました。

次回『石川家の人々』を読む会例会のお知らせ

1. 期日 2018年 4月25日(水) 午後6:30
2. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)
3. 内容 『喜寿の安登』 p.64 第51節「紐育日本人傳道會總理兼牧師」～ 報告者：平田 光洋 氏
5月の予定表をお持ちよりください。

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

108

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

NEWS

号

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2018. 5. 1

『喜寿の安登』報告例会—平田光洋氏が「紐育日本人伝道會」等について報告— 和助の活動した頃のブルックリン地区・コロンビア大学地区は!!



▲コロンビア大学(正面建物は図書館)

明治36年(1903)、渡米・留学した和助は当時ブルックリン区コンコード str.にあった日本メソジスト教会 NY 支部を拠点に「紐育日本人伝道會總理兼牧師」として活動しました。平田氏の報告によれば、1890年には西部を中心にアメリカに2,039人の日本人移民がいたが、その一部約400~500人が海軍造船所があったブルックリン区の(日本人居住者のための)寄宿舎で生活していたとのこと。日本メソジスト教会 NY 支部の創設者岡島金弥は1893年(明治26)、彼らニューヨークの日本人たちに福音を伝えようと決意して(汽車賃が無かったため)オレゴン州から徒歩でアメリカを横断してブルックリンに到着。コンコード str.17番地で「コンコード伝道會」の活動を始めます。この伝道會がメソジスト教会に合流して、前述の日本メソジスト教会 NY 支部となったようです。和助が「慰め励まし職業又は雇傭の世話までしながら(『喜寿の安登』)」活動していた同支部は1920年にマンハッタンの西108番 str.323番地に移転し、大戦後の1953年に他の2つの日系人教会と合同して「日米合同(基督)教会」となっています。岡島より2年前に、16歳でブルックリンに住み海軍造船所で働いて学資を貯めコーネル大学で医学を修めた後奉仕の医療を続けた日本人キリスト者に高見豊彦氏もいました。平田氏の報告は和助の活動していた頃のマンハッタン島やブルックリン地区の様子を生き生きと伝えるものでした。

次回特別出張例会 in 甲府に参加して(『石川家の人々』編集を担われた)石川三郎氏のお話を聴きませんか??

次回例会は下記のように「甲府出張例会」として開催します。参加人数が未確定のため費用も未定ですが、会場費(3200円+税/2時間)、移動にかかる費用(マイクバスまたは自家用車に分乗+保険料金)等の人数割り分、昼食代等で3千円程度(人数確定後に各参加者宛てに連絡します。)を別に集めさせていただきます。会場については「かいてらす甲府」をネット検索してみてください。参加希望者は同封の別紙参加申込書を04-2962-3424まで FAX 送信されるか、または yossy58cinemamoure@yahoo.co.jp までメールでお申込みください。

『石川家の人々』を読む会甲府出張例会

1. 期日 2018年 5月28日(月) AM 8:30~PM 5:30頃帰着予定
2. 会場 山梨県地場産業センター “かいてらす” 甲府市東光寺3-13-25 ☎ 055-231-1951 他
3. 内容
 - ・AM 8:30 石川洋行集合分乗して山梨県立博物館 “かいじあむ” 見学
 - ・甲府市舞鶴公園で石川三郎氏と合流、公園見学後山梨県地場産業センターで昼食
 - ・同センター内会議室で『石川家の人々』を編集された石川三郎 氏のお話をお聴きします。
4. 会費 昼食代を除き、3,000円程度を予定(当日の朝集金させていただきます。)
5. 申込 5月13日まで。ただし予約した会場の都合上、先着18名様で打ち切らせていただきます。

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

109

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

NEWS

号

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2018. 6. 1

甲府出張例会で『石川家の人々』編集を担った石川三郎氏が語った —西洋館・石川組製糸・石川家の思い出—



大正12年舞鶴城(公園)で撮影された石川組山梨担当工女募集員たち▲

◀舞鶴城(公園)に復元された鉄(くろがね)門石段で記念撮影(平成30.5.28)

5月28日(月)に甲府市の「かいてらす」に出張して行われた例会には16名が参加し、山梨県立博物館シンポジウム「山梨の明治」見学、大正12年に石川組製糸の山梨県担当募集員が記念撮影をした舞鶴城(公園)鉄(くろがね)門(当時は失われており、現在は復元されている)石段の見学と記念撮影、「かいてらす」(山梨県地場産センター)での昼食会と甲府在住会員の石川三郎氏からのレクチャー等が行われました。

例会には車2台で12名が入間市を出発、山梨県立博物館から1人が、昼食会から石川三郎氏を含む3人が現地合流しました。

例会では、西洋館の芝生庭の位置や昭和14年に豊岡教会の“天佑”額を和助氏に頼まれて取りに行ったこと等、石川三郎氏ならではの話を聞くことができました。

和やかな自己紹介を兼ねて併設のレストラン「ワインクラブ」で行われ

た昼食会のメニューは名物のほうとう。95歳とご高齢の石川三郎氏にはご長男の夫人・真弓氏がつきそわれ、同氏からは参加者全員に甲州銘菓「黒玉」を頂きました。また、年会費の他に会へのご寄付も頂きました。大切に活用させていただきます。当日の参加者：石川三郎、石川真弓(非会員)、青木和子、石川洋子、蔵田毅(非会員・東野高校職員)、齋藤祐司、染井佳夫、玉井康夫、長崎彩子、袴田正毅、日比保紀、平田洋光、藤井のり子、発智金一郎、三浦久美



▲石川組(家)の思い出を話される石川三郎氏(右)
左はご高齢の三郎氏に付き添われた石川真弓氏

出張例会収支報告： 収入 51,200 円 - 支出 高速料金・ガソリン代・駐車場料金・現地参加者を除く 12 人の会員への一部返金他計 49,604 円 = 1.5% 円を会の会計に繰り入れさせていただきました。 会計 三浦久美子

子、山戸壽子

/太字は現地で直接参加

『石川家の人々』を読む会次回例会

1. 期日 2018年 6月29日(金) PM 6:30~
2. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)
3. 内容 『喜寿の安登』 p.65 第 52,53 節「紐育市在留邦人天長節祝賀會」「日露戦争と講和談判の頃」
報告者：染井 佳夫 氏 7月の予定表をお持ちよりください。

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

110

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

NEWS

号

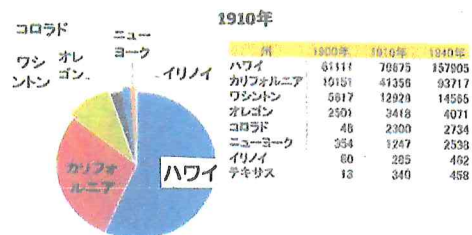
* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562)、幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当

発行：2018. 7. 2

『喜寿の安登』より「紐育市在留邦人天長節祝賀会」について染井氏が報告 — 日露戦争前後に醸成されたナショナリズムと「天長節」 —

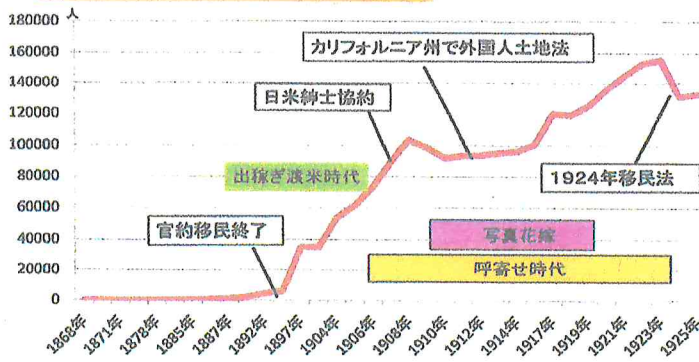
『喜寿の安登』第52節「紐育市在留邦人天長節祝賀会」において石川和助氏は熱烈な愛国的心情を吐露した演説を行っています。この明治36年(1903)は、日露戦争の前年にあたり、「臥薪嘗胆」を合言葉としてきた日本人のナショナリズムは非常に高まっていました。特に在米邦人は前節でも描写されていたように差別を受けていたため、一層強い民族意識を

2 地理 2-1 州別日系アメリカ人口数(1900~1940年)



【典拠】アケミ・キクムラ=ヤノ編『アメリカ大陸日本人百科事典』(明石書店、2002年)413ページ。表10.41により抄録。原典はU.S.Census, 1900-2000のこと。

1-5 在米日本人数の推移



【典拠】1868年~1913年までは児玉正昭『日本移民史研究序説』(漢水社、1992年)519ページ。児玉論文の原資料は『日米文化交流史』第5巻50、93ページ。1914年~1925年の数値は、『北米年鑑』1928年第6編、41ページによる。

▲◀の2つのグラフは京都女子大坂口満宏教授作成

「観て国民を本気で教化し始めたのは学校教育において明治23年頃から、国民の日記等の中に「天長節」の記載が始まるのも明治30年代です。(例『礪山日記』『啄木日記』他)特に日露戦争をはさむ36,37,38年には大きな高まりを見せます。『喜寿の安登』に見られる和助氏の情熱的な発言は、本多庸一師の影響だけでなくこうした時代の空気でもあったのです。

『石川家の人々』を読む会次回例会

1. 期日 2018年 7月26日(木) PM 6:30~
2. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)
3. 内容 『喜寿の安登』p.67 第53節 「日露戦争と講和談判の頃」~ 報告者：三浦 久美子氏

*8月の予定表をお持ちください。

【西洋館一般公開が始まります】7,8月の公開日は次のとおりです(いずれも10~16時)
7月7日(土/オープニング式典・アトラクションもあり),15日(日),28日(土),29日(日)
8月11日(土),12日(日),25日(土),26日(日) 7月7日は無料公開、他は入館料200円

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

111

入間市立図書館・各分館と久保稲荷, 黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

NEWS

号

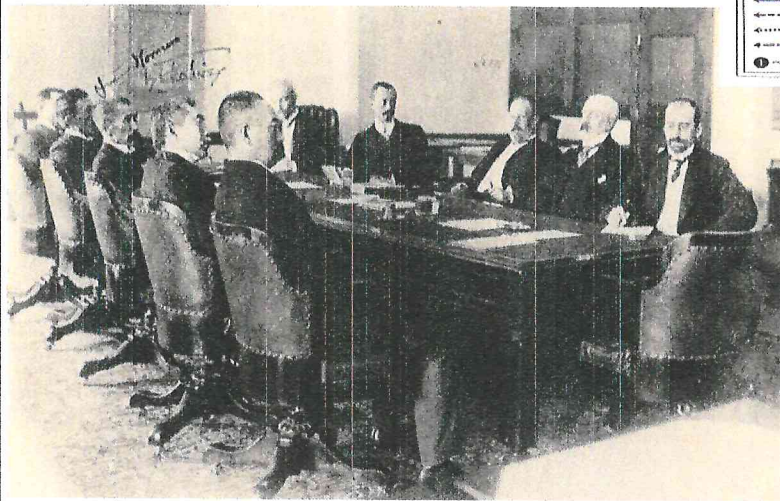
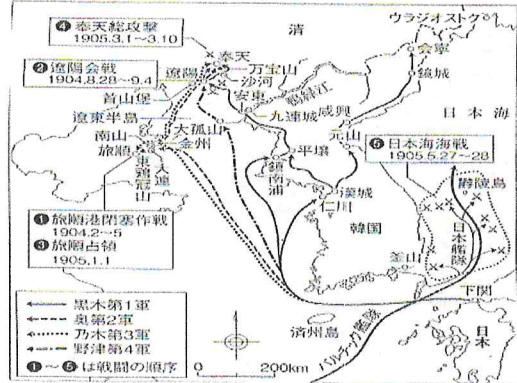
* 発行責任者: 会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行: 2018. 8. 3

例会で「日露戦争と講話談判の頃」「金子堅太郎に釈明」を三浦氏が報告 一日露戦争の推移と戦後アメリカ世論の動きおよびそれを準備した人々

『喜寿の安登』第53節「日露戦争と講話談判の頃」において石川和助氏は戦闘における勝利と共に在米日本人(著名人)に私立学校(public school)等からの講演依頼が集まり、親日世論が形成されていっています。しかし、ロシア全権のウィッテ来訪と共にニューヨークタイムズ等各紙の論調が親露に一変したことを記しています。親日世論の形成に力のあ

日露戦争の展開(1904.2.10~1905.9.5)



日露講和会議/右日本側左ロシア側

日露会戦図 ◀

った英語の達人な在米知識人として三浦久美子氏は『日露戦争 もう一つの戦争』(塩崎智著 祥伝社新書)を元に興味深い報告をされました。報告によれば、金子堅太郎(政治家), 岡倉天心(美術家), 家永豊吉(シカゴ大学、1862年柳川に生



▲金子堅太郎(1942年)

まれた熊本バンドの一員), 朝河貫一(歴史学者), 野口米次郎(詩人)等が活躍したとのこと。こうした流れの中で、和助もその一翼を担っていたものと思われます。この中で金子堅太郎は日露戦争勃発とともに伊藤博文の依頼で渡米し、かつての留学先ハーバード大学のOBとして面識のあったセオドア・ルーズベルトからの支援取り付けを図るべく日本の広報外交にあたっていました。

『石川家の人々』を読む会次回例会

1. 期日 2018年 8月28日(火) PM 6:30~
2. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)
3. 内容 『喜寿の安登』p.69 第54節 「ユニオン神学校」~ 報告者: 齋藤 祐司 氏

*9月の予定表をお持ちよりください。

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

112

NEWS

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2018. 9. 4

例会で齋藤祐司氏が報告！「ユニオン神学校」「コロンビア大学」等について 一日露戦争の推移と戦後アメリカ世論の動きおよびそれを準備した人々

『喜寿の安登』第54節「ユニオン神学校」で石川和助氏は“先輩知友”から「ドルー(大学)」なり「ボストン(大学)」なり「メソジスト神学校」にゆけと勧められたにもかかわらず、ユニオン神学校に留学しました。1836年ニューヨークに設立されたユニオン神学校は、プレスビテリアン(長老派)の神学校として始まった同校でしたが、超教派的な神学研究を行い、“東洋人奨学資金制度”を発足一拡大したり、黒人解放神学・(黒人女性の解放を目指す)ウーマニスト神学の発祥の地としても知られ、進歩的な側面もあるそうです。



ドリュー大学

ドリュー大学は、メソジスト派の神学校として1867年創立。ニュージャージー州の私立大学です。

和助夫妻の仲人であり、大きな影響を与えた日本メソジスト教会初代監督・本多庸一も

ドリュー大学の出身

でした。ボストン大学は1839年創立。全米第4位の規模を誇る名門大学で、元はバーモント州に神学校として創立されましたが、1867年にマサチューセッツ州ボストンに移った。現在は非宗教系の学園として有色人種・女性や留学生の受け入れを積極的に行っていることで有名です。齋藤祐司氏はこの他にも多くの大学について詳細な



ボストン大学

報告をされましたが、略させていただきます。また、「コロンビア(マ)大学」については、イエスの出現への歴史社会学的考察に“失望”を示す等「靈感」を重視する和助氏らしい反応も記されておりますが、本紙第108号でとりあげましたので割愛させていただきました。

『石川家の人々』を読む会次回例会

期日 2018年 9月28日(金) PM 6:30~

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 『喜寿の安登』p.72 第57節 「紐育の慈善事業社会事業」~ 報告者：染井 佳夫 氏

* 10月の予定表をお持ちよりください。

シルクロードネットワークフォーラムを9月29日(土)~30日(日)小川町で開催 !!

「2018年度 RAC 研究集会案内」→「まち歩きイベント等和紙のふるさと小川町」で検索できます。

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

113

NEWS

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷, 黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

* 発行責任者: 会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行: 2018. 10. 3

染井佳夫氏の例会報告

「紐育の慈善事業社会事業」「大西洋航海と英仏蘭白の視察」について

【和助は社会事業の現場を見ただろうか?—57節に関して—】

『喜寿の安登』57節中で和助は「慈善家篤志家の如何に多きか」と当時のアメリカ社会を賞賛し(例会で紹介した一番ヶ瀬康子氏の論文『アメリカ社会福祉発達史』によればその「質」はまださほど高くはない)つつ「(やがて日本にも欧米のやうな社会が来ると考えて)『其方に働かんか』と随分考慮した」が、ハリス先生の「教會を造り教徒を教えよ」との意見を聞き、止められています。ただ、その前段の自己分析中で「不良青年」や「與太者」と「不具者」「孤児を同列に論ずる等明治期知識人としての認識の「限界」と読める箇所もありました。



ハリス師

【シティーオブニューヨーク号はインマンライン社の外洋船—58節に関して—】

明治40年(1907)1月7日、和助は「紐育を發しホワイトスターライン・ニューヨーク号で……サザンプトンに向けて大西洋を渡り」ます。しかし、和助の乗船したシティー・オブ・ニューヨーク号はインマンライン社の1萬噸級外洋船でした。1912年に沈没事故を起こしたタイタニック号がホワイト…社の持ち船だったことから強く印象に残り、この勘違いに至ったものと考えられます。

また、ロンドンでははジョン・ウェスレーの居室も訪ねていますが、同宿(下宿)の「男女會社員や新聞雑誌記者たちと懇話雑談して…フランス・オランダ・ベルギー視察の指針を得た」とあります。

ベルギーでは、ナポレオンがイギリス・ドイツ・ベルギー等の連合軍に敗れた戦跡ワーテルローの「ライオン丘」を訪ねた際、高い馬車賃をふっかける現地の住民の誘いを断って、「案内書に困りて…見物した」と胸を張っています。和助にとっては西欧の歴史や文明を理解する旅だったようです。



シティー・オブ・ニューヨーク号



1912年に沈没したタイタニック号



青山学院大構内のJ.ウェスレー像

『石川家の人々』を読む会次回例会

期日 2018年10月31日(水) PM 6:30~

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 『喜寿の安登』p.74 第59節 「ロンドンより横濱まで」~

報告者: 山戸壽子 氏

* 11月の予定表をお持ちよりください。

旧黒須銀行大掃除 11月7日(水) 10時~15時 [10月1日号入間市広報参照](#) !!

西洋館講座 11月17日(土) 10時~「入間に遺る石川組製糸の思い出」講師: 染井佳夫氏 [同上](#)

「内田青蔵先生講演会—西洋館の見方—」: 11月23日(金/祝) 10時西洋館 [同上](#)

生涯学習フェスティバル 12月2日(日) 9:45~15:45 産業文化会館 [展示参加](#)

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

114

NEWS

号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2018. 11. 5

前回例会 山戸壽子氏の例会報告 59節「ロンドンより横濱まで」60節「鎌倉教会牧師の一年間」



▲有島武郎

【社会は彼……を祝福するのに、僕はやぶさかでない。／有島武郎の和助評】

米国留学の帰途、英国に滞在後日本郵船の南回りの因幡丸で(上地図中のアントワープ～マルセイユ～コロンボを通る航路)帰国した和助は、長い船旅の間隣室の船客だった有島武郎と船中で交友を持ちます。『有島武郎全集第11巻付録月報』所収の日記『観想録』より「石川氏はとても良かった用心深い人だ。現実の生活で大いに経験を積んだ人のようだ。……社会は彼のような人がいることを祝福するのに、僕はやぶさかでない。」と評している。ただし、「僕は彼の意見や行為に同感することができない。」とも書いている。

【談話し共に運動した。まことに楽しく有益…和助の有島武郎観は】

『喜寿の安登』中の有島武郎に関する記述は「…因幡丸では隣室同士で二ヶ月間親しく談話し甲板で共に運動もした。まことに楽しく有益であった。」とあるのみ。しかし、後(大正12年6月9日)の「婦人公論」記者波多野秋子(人妻)との心中事件についても批判的な記述が見られない事等から、有島武郎を高く評価し多少の影響を受けていたとも考えられる。



▲有島情死の記事

『石川家の人々』を読む会次回例会

期日 2018年11月29日(木) PM 6:30～

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)

2. 内容 『喜寿の安登』p.76 第61節 「青山教会の牧會拾四年間と本多記念教会建築發起と計畫遂行」

～ 報告者：藤井のり子氏, 石川洋子氏

*12月の予定表をお持ちよりください。

旧黒須銀行大掃除 11月7日(水)10時～15時 [10月1日号入間市広報参照](#) !!

西洋館講座 11月17日(土)10時～「入間に遺る石川組製糸の思い出」講師：染井佳夫氏 [同上](#)

「内田青蔵先生講演会—西洋館の見方—」：11月23日(金/祝)10時西洋館 [同上](#)

生涯学習フェスティバル 12月2日(日)9:45～15:45 産業文化会館 [展示参加](#)

npo 上武絹の道ネットワーク(佐滝剛弘氏ら)西洋館を来訪予定 2019.2.19.

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

NEWS

115
号

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2018. 12. 5

前回例会 藤井のり子・石川洋子両氏の例会報告

61節「青山教会の牧會14年間と本多記念教会建築発起と計畫遂行」について



藤井のり子氏は青山教会牧師として活躍した和助の14年間について報告。同教会は伝統はあるものの、建物の老朽化がひどく、劣悪な住環境下に三男・栄を疫癘で失います。本多庸一を記念して新たな教会堂の建築を思い立ちますが……。また、石川洋子氏はテキスト中に書かれていた「満鐵會社」他について報告を行い、これに刺激されて、しばらく戦争や引き上げ等についての話し合いが行われました。なお、この例会から“お試し参加”として

▲現在の本多記念青山教会礼拝堂 元TBSプロデューサー杉崎一雄氏が参加しました。

【今年も、いるま生涯学習フェスティバルに参加しました】

12月2日(日)に「いるま生涯学習フェスティバル」が開催され、今年も会として展示参加しました。展示タイトルは「入間に遺る石川組製糸の思い出」として、A3判の写真等37枚を展示しました。

また、協力団体の「入間市の文化遺産をいかす会」が打木村治著「大地の園」の紙芝居を2回上演しました。

「入間に遺る石川組製糸の思い出」展示前での紙芝居上演 ▶



「石川家の人々」を読む会次回は「…いかす会」との合同忘年会

忘年会は 1. 期日 2018年12月16日(日) 18:00開会
2. 会場 インド料理レストラン ジャイプール
3. 会費 3,000円

*甲府在住の会員石川三郎氏よりいただいたカンパ10,000円も使わせていただきます。

次々回期日 2019年 1月29日(火) 18:30~

1. 会場 石川洋行母屋(入間市黒須 1-10-31 ☎ 04-2962-3420)
2. 内容 『喜寿の安登』p.76 第62節 「退隠教職 報告者：発智金一郎 氏

*2月の予定表をお持ちよりください。

- NPO 上武絹の道ネットワーク(佐滝剛弘氏ら)西洋館を来訪予定 2019年2月19日。
- さいたま絹文化フォーラム vol.4 in 川越 2019年3月9日(土)13:00~16:00
基調講演：「時の鐘再建と横浜生糸商人 原善三郎・茂木惣兵衛・平沼専造」横浜市史資料室 平野正裕氏 他 *交流スペースにて県内絹文化関連団体のパネル展示も予定
定員：100名(事前申し込み要) 参加費：会員無料(一般500円/当日入会者は無料・会員会費1,000円/年) 申し込み 2月1日より FAX(049-277-8941)または e-mail(shamusho@hikawa.or.jp)にて受付(会員優先で定員になり次第締め切り)